

事務連絡

令和3年7月15日

各競技専門部長 様
各競技専門部委員長 様

栃木県高等学校体育連盟事務局

専門部が関わる競技団体主催事業における当連盟名義使用の扱い等について

表題の件、下記のとおりご対応願います。

記

- 1 標記事業において、当連盟名義（「栃木県高等学校体育連盟〇〇専門部」等の表記を含む）を使用するにあたっては、組織ならびに事業における透明性や公正性等を確保する観点から、令和3年4月16日評議員会にて承認された、別添「共催ならびに後援名義等の使用許可に関する規程」（以下、規定と略す）に基づき、適切にご対応願います。

申請にあたっては、当連盟ホームページにて編集用文書データ（Word・docx形式）を公開しておりますのでご活用ください。なお、許可事業については当連盟ホームページで事業名と概要等を公開いたします。

- 2 項目1に該当し、許可を受けた事業を除き、以下の誤用例を含め、主催・共催・主管・後援・運営協力・担当等として、当連盟名義（「栃木県高等学校体育連盟〇〇専門部」等の表記を含む）を使用することはできませんので、ご承知おきください。

誤用例1 主催＝競技団体

主管（または運営協力、担当など）＝栃木県高等学校体育連盟〇〇専門部

誤用例2 主催＝全国高等学校体育連盟〇〇専門部

主管（または運営協力、担当など）＝栃木県高等学校体育連盟〇〇専門部

- 3 規定に示す「後援」については、共催事業を持たない競技（団体）において原則として年間1件のみとしておりますが、以下、ア・イの例については許可を認める方針です。

ア 共催事業（大会）1件＋後援事業（審判・実技講習等）1件

イ 後援事業（大会）1件＋後援事業（審判・実技講習等）1件

適用理由： 審判・実技講習等については、当連盟主催事業における円滑な運営や安全な活動を促すなど、当連盟組織の目的達成に資するものと考えられるため。

（ 栃高体連事務局
TEL 028-612-5290
FAX 028-612-5291 ）

共催ならびに後援名義等の使用許可に関する規程

栃木県高等学校体育連盟（以下「当連盟」とする）では、団体等が主催する競技会、その他の行事（以下「行事等」とする）が、当連盟の目的達成と密接に関連しており、共催あるいは後援すべきと認められる場合には、主催者等からの申請に基づき、共催あるいは後援名義の使用を許可いたします。

共催あるいは後援名義の使用を希望される場合は、以下内容をご確認の上、申請書類をご提出ください。なお、内容によっては許可できないことがありますことをご了承ください。

1 条件

- (1) 行事等が高等学校体育・スポーツの健全な発達に寄与するものであること。
- (2) 生徒の大会参加に当たり、学業に著しい支障をきたしたり、経済的負担を強いたりしないものであること。
- (3) 当連盟および当連盟各専門部の事業運営に支障が無いように計画されていること。
- (4) 安全上ならびに公衆衛生上の適切な措置が講じられていること。
- (5) 該当事業の準備・開催・運営等に際し、当連盟は一切の財政支援、経費負担を行わない。
- (6) 同一競技あるいは同一団体において名義使用が可能な回数は、共催・後援いずれかについて、原則として年間1回までとする。
- (7) 以下に該当する事業は対象としない。
 - ア 営利を目的としたもの
 - イ 特定の政党または特定の宗教・宗派を支持・支援するもの
 - ウ 特定の主義主張の浸透を図ることを目的とするもの

2 共催について

(1) 対象事業

全国高等学校選抜等大会（各競技の中央競技団体が主催し、全国高体連が共催となる大会）の県予選大会に位置づけられる県内競技団体主催大会であり、当該大会の運営を栃木県高等学校体育連盟の関係競技専門部が担うもの。

※ 2021 年度における対象事業（申請することが可能な事業）は、以下ア～キの栃木県予選会とする（2021 年 4 月 1 日現在）。

- ア ウィンターカップ全国高等学校バスケットボール選手権大会
- イ 全日本バレーボール高等学校選手権大会
- ウ 全日本高等学校選抜ソフトテニス大会
- エ 全国高等学校サッカー選手権大会
- オ 全国高等学校柔道選手権大会
- カ 全国高等学校弓道選抜大会
- キ 全国高等学校ホッケー選抜大会

(2) 保険対応

当連盟が加入する、団体総合補償制度費用保険・賠償責任保険の対象とする。

3 後援について

(1) 主催者の範囲

- ア 国・県及び地方公共団体の関係機関、又はそれらの連合体
- イ 法人格を有するスポーツ団体で郡市単位以上の規模を有するもの
- ウ その他、当連盟が適当と認める郡市単位以上の組織を有する団体

(2) 保険対応

主催者が対応することとし、当連盟が加入する保険の適用対象とはしない。

(3) その他

後援は主催団体の社会的信用等に基づき、当連盟が当該事業を応援することを表明するものであり、事業の運営ならびに遂行に当たり、当連盟は一切の責任を有さない。

4 申請手続き等

(1) 申請

共催または後援を希望する者は、当連盟指定様式による申請書を事業開始の2か月前までに提出し、審査を受けなければならない。

(2) 書類提出

名義使用許可を受けた後、安全管理に関する対応として、当連盟主催事業における対応に準じ、当連盟指定様式による以下の書類を事前に提出すること。

ア 大会要項

イ Emergency Action Plan (EAP)

ウ 危機管理フローA組織図

エ 事故防止確認シート

(3) 終了後の報告

事業終了後1か月以内に、指定様式による実施報告書を当連盟宛て提出すること。

(4) 取り消しについて

事業の準備並びに遂行に当たり当規定に反する事項が確認された場合、またはその他適当でないと認められた場合、当連盟は名義使用許可を取り消すことができる。

5 その他

(1) 当連盟の共催事業においては、当連盟の関係競技専門部が「主管」を務めることができる。後援事業においては、当連盟の関係競技専門部が「運営協力」を務めることができる。

(2) 当規定は 令和3（2021）年4月16日から施行する。

(別紙様式1)

文書番号

年 月 日

栃木県高等学校体育連盟会長 殿

主催者等名

代表者職名・氏名

栃木県高等学校体育連盟名義等の使用許可申請について

このたび下記行事等を主催するにあたり、栃木県高等学校体育連盟の（ 共催 ・ 後援 ）名義使用許可を得たいので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 名称
- 2 趣旨
- 3 主催（共催）
- 4 主管
- 5 後援
- 6 協賛等
- 7 事務担当者連絡先
住 所
(所属部課等名)
担 当 者 氏 名
電 話 番 号
F A X 番 号
メールアドレス
- 8 収支予算書（別紙）

(記載例)

収支予算書

○行事等の名称：

○主催者等名：

1. 収入の部

費目	内訳	金額 (円)
前期繰越金		〇〇〇〇〇〇
自己資金		〇〇〇〇
参加費	〇〇円×〇〇人	〇〇〇
協賛金等	〇〇協会 〇〇〇円 ××会社 ×××円	〇〇〇〇
〇〇補助金		〇〇〇〇
雑収入		〇〇〇〇
合計		〇〇〇〇〇〇

2. 支出の部

費目	内訳	金額 (円)
会議費	〇〇〇〇×〇会場	〇〇〇〇
講師謝礼	〇〇〇〇×〇人	〇〇〇〇
交通費	〇〇〇〇	〇〇〇〇
印刷費	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇〇
通信運搬費	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇費	〇〇〇×〇〇	〇〇〇〇〇
次期繰越金		〇〇〇〇〇
合計		〇〇〇〇〇〇

- ・ 不足が生じた場合には、主催者等が負担するものとする。

(留意点)

- ・ 収入合計と支出合計は原則一致させること。
- ・ 収支予算書の内訳欄の記載は、他の申請書類等に記載の内容と合致していること。

(参考様式)

初回申請時補足資料

○行事等の名称：

○主催者等名：

1. 名義等の使用を申請するに至った経緯及び理由
2. 当該行事等が、高等学校体育・スポーツの発展に寄与することの具体的な理由
3. 当該行事等の過去3回の実績

(別紙様式2)

文書番号

年 月 日

栃木県高等学校体育連盟会長 殿

主催者等名

代表者職名・氏名

栃木県高等学校体育連盟名義等使用に係る事業実施報告書の提出について

年 月 日付け栃高体連第 号で許可された名義使用について、このたび当該許可に係る行事が無事終了しましたので、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

- 1 名称及び主催者
- 2 開催日及び会場
- 3 規模（チーム数・参加者数等）
- 4 添付書類（大会結果・決算書）

(記載例)

収 支 決 算 書

○行事等の名称：

○主催者等名：

1. 収入の部

費目	内訳	金額 (円)
前期繰越金		〇〇〇〇
自己資金		〇〇〇〇〇
参加費		〇〇〇〇
協賛金等	〇〇協会 〇〇〇円 ××会社 ×××円	〇〇〇〇
〇〇補助金		〇〇〇〇
雑収入		〇〇〇〇
合計		〇〇〇〇〇

2. 支出の部

費目	内訳	金額 (円)
会場費	〇〇×〇〇会場	〇〇〇〇
講師謝礼	〇〇×〇〇人	〇〇〇〇
交通費		〇〇〇〇
広告費		〇〇〇〇
〇〇〇費		〇〇〇〇〇
雑費		〇〇〇〇
次期繰越金		〇〇〇〇
合計		〇〇〇〇〇〇

(留意点)

- ・収入合計と支出合計は原則一致させること。
- ・収支に過不足が生じている場合は、その原因及び対処方針を明記すること。